

Web Site

めっきラボ

TAKAGI

http://www.takagi-lab.sakura.ne.jp



株式会社

京仏具高木

http://www.takagi-lab.sakura.ne.jp/kyobutsugu_index.html



- 弊社が展開する試作業務のご紹介及びめっきに関する情報、スタッフの紹介などの情報を発信しています。

- 株式会社京仏具高木のホームページです。伝統的なめっき技法を駆使した最高級の仏具をご紹介します。

Profile

会社概要

会社名	高木金属株式会社
営業分野	貴金属めっき
営業品目	金・銀・銅・Ni・Rh めっき
創業	1966 年
所在地	京都市伏見区羽東師古川町 2 4 6 - 1
TEL	075-933-4775
FAX	075-933-5536
Mail	tackagi@mbx.kyoto-inet.or.jp
資本金	1,000 万円

沿革

1966 年	京都市伏見区深草にて創業
1974 年	現在の金めっきセンターを設立
1975 年	高木金属株式会社設立
1978 年	資本金 1,000 万円
1981 年	株式会社京仏具高木を設立 資本金 1,000 万円
1987 年	第 2 工場を増設
1999 年	京都府知事表彰「現代の名工」受章
2004 年	厚生労働大臣表彰「現代の名工」受章
2010 年	第三工場増設

いつでもお気軽に
お立ち寄りください。

MAP



めっきラボ

TAKAGI

めっき試作ラボ

高木金属株式会社

京都の伝統工芸によって培われた 先人達の技と知恵が生きる。

高木金属株式会社は、古都京都の南、伏見区に位置する社歴40年余りのめっき会社です。

京都が大切にしてきた斬新性と技の深化を受け継ぎ、厚生労働省及び京都府から「現代の名工」を受賞しました。

卓越した品質だけではなく、めっき処理に特化した排水処理設備や塗装設備を完備し、一貫した加工技術・品質管理体制を構築することで環境負荷の低減にも取り組んでいます。

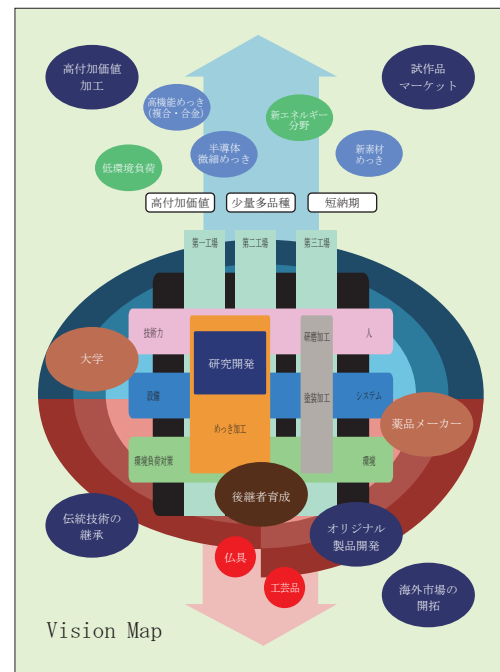
Vision

金色に光るテクノロジーで ワクワク・ドキドキの 未来を創造する。

私たちは金めっきを通じて、

- ① 笑顔の創造
- ② 手を合わせて感謝する、願う、祈る心の創造
- ③ コア技術の創造
- ④ 日本の伝統的な技術の継承

を追求し、それによって日本の美しさ・文化が世界に認められ、日本の伝統的な美と日本人特有の礼儀・作法を重んじる理念が世界中に広めていきます。また、金属めっきを通じて、あらゆる可能性と創造性を求めて、素材にポテンシャル（機能）を与えていきます。



研磨



めっき加工



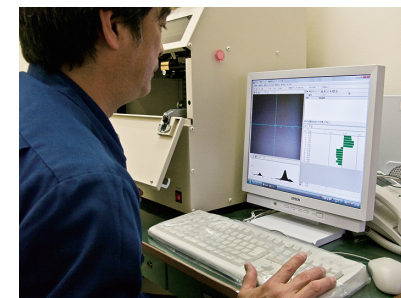
新設試作ライン



京都の伝統に培われた 「現代の名工」の 高い技術力で対応します。

仏像・仏具や伝統工芸品のような複雑な形状をしたものへのめっきによって培われた技術を活かした、微小な部品や微細な形状に組成や厚さを制御して、任意の金属を析出させるめっき技術の開発等、高度なめっき技術による加工を得意としています。

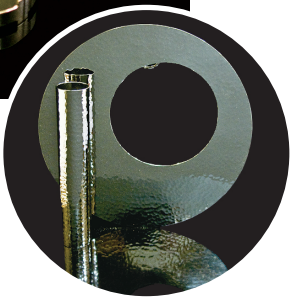
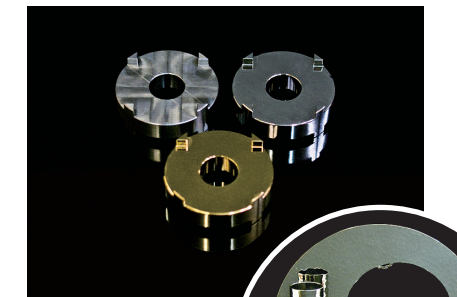
また、仏像・仏具や伝統工芸品のような複雑な形状へのめっきや、指先ほどの微細な部品用の加工、さらには数メートルもある工芸品用の加工と、あらゆるサイズの部材へのめっきが可能な生産設備と「現代の名工」を受賞した高い技術力でどんな加工でも対応させていただきます。



最先端技術と融合した 伝統工芸の「技」。

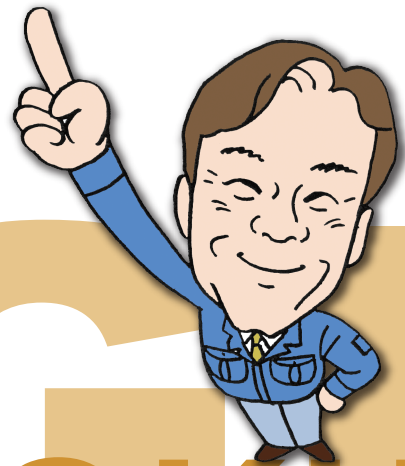
様々な技・伝統を受け継いだ伝統工芸士の巧みを結集して京都の伝統工芸品は生まれてきます。京都では、金めっきはニッケル下地を使用しない銅・銀を下地としためっきが主流ですが、それは伝統工芸品の風合いを活かす先人よりの知恵なのです。金の持つ本来の色を表現する為とニッケルと金は電位差が大きく腐食しやすい為に古くからこの手法が用いられています。

現在、京都の伝統工芸の技術は形を変えて、京都の産業の礎となりました。最先端の技術と伝統工芸の技術が融和して様々な分野で用いられています。



新たな分野を開拓する！

表面に強固な酸化膜があるステンレスへのめっきや、機能性と美しさを具えたオリジナル金属製品の開発など、さまざまな分野にチャレンジしています。



TAKAKINZOKU